

## 教育民生常任委員会 摘 録

1. 開催日 令和5年7月14日(金) 第1委員会室
2. 出席委員 五島誠委員長 前田智永副委員長 赤木忠徳 横路政之 宇江田豊彦 藤木百合子
3. 欠席委員 なし
4. 事務局職員 山根啓荘議会事務局長 橋本和憲議会事務局主任主事
5. 説明員 なし
6. 傍聴者 なし
7. 会議に付した事件
  - 1 子育て支援について(視察の計画)
  - 2 閉会中の継続調査について(今後の進め方、狙い)

-----  
午前10時00分 開 議

○五島誠委員長 教育民生常任委員会を開会いたします。本日、傍聴を許可していますので、あらかじめ申し添えておきます。

### 1 子育て支援について(視察の計画)

- 五島誠委員長 まず、1点目の協議事項として、子育て支援について、先般お伝えしたとおり、奈義町への視察計画を事務局がつくっていますので、先に事務局から説明をしてもらったらいいですかね。
- 橋本和憲議会事務局議事調査係 それでは説明いたします。先般、会議で決定しました奈義町への視察計画ということで、ホームページから申し込みをするようになっていましたので、各議員にメールを送って、取り急ぎ、集まった内容で申し込みをしました。まず、視察日ですが、記載のとおり、令和5年8月29日、火曜日としています。視察内容については、各議員から出てきたものを整理して挙げています。1つ目が子育て支援施策の財源及びメニューの狙いについて。2つ目が2019年に合計特殊出生率2.95を達成した子育て支援の施策について。これは、就学支援金、就労支援、居場所づくり、住宅支援等の総合的な子育て支援の詳細についてです。もう1つが、第3回日本子育て支援大賞2022自治体部門を受賞された功績の詳細。最後に、現地視察として、チャイルドホーム事業及びごとコンビニ事業、ということで申し込みをしています。また、質問事項等を質問状で整理して先方に送ろうと思いますので、追加で聞きたいことがあれば、言ってもらえれば整理をします。
- 五島誠委員長 それでは、このような計画で視察を行っていきたいと思います。皆さんから何かありましたら意見をもらいます。よろしいですか。それでは、視察内容は、先ほど事務局から皆さんに申し伝えたとおりなのですが、先ほどの質問状のところなどについては、正副委員長に御一任ください。よろしいですか。また何か、きょうお配りした資料等を見たり、それぞれ事前学習をされる中で気になることがございましたら、言ってもらえればと思いますので、よろしく願います。詳細な時間等については、決定次第皆さんにお伝えしますので、よろしく願います。

## 2 閉会中の継続調査について（今後の進め方、狙い）

- 五島誠委員長　　そうしましたら、協議事項に載っていないのですが、先般、閉会中の継続調査事項ということで、当委員会では5点挙げていまして、今後の進め方や狙いについて、あらかじめ、一旦ここで確認をしておこうと思います。まず、子育て支援につきましても、この視察を契機に、さまざまな観点から本市の子育て支援を、さらなるところも含めて検討したいと思っていますので、よろしいかと思います。それ以外の4点について、それぞれ提案者もいましたので、今後、どのように進めていくのかを少し議論したいと思います。こちらについては、1点ずつ進めていけばいいかと思います。順番で言えば、まず、医療体制の現状と課題について、こちらについては、どのように進めましょうか。提案者の宇江田委員、何かありましたらお願いします。
- 宇江田豊彦委員　　漠然としているのですが、まず1点、本市が抱えている無医地区の問題を検討していかなければならないと思います。無医地区の実情、それから、医療機関等々の対応について確認していかなければならないのではないかなと思います。
- 五島誠委員長　　そうしましたら、まず、一旦、担当課から聞き取りをした後に、例えば、無医地区の地域に出向くとか、そうしたことも検討していけばいいかなと。特にこれは、提案というよりも、まず現状の確認からだと思いますので、早速ですが、事務局と私どもで調整をして、次回あるいは次々回の委員会で、担当課を招聘しまして、そこで現状を問いただすという流れからスタートしていきたいと思います。そのほか、皆さんから意見がありましたらお願いします。いかがでしょうか。よろしいですか。では、そのように進めます。まずは、担当課から聞き取りをしたいと思います。続いて、教育条件整備について、これは、複数の議員の方、それぞれ思いがあるかと思います。まず、赤木委員からもし何かありましたら、言ってもらえれば。
- 赤木忠徳委員　　永末小学校の放課後児童クラブの定員が20名しかないところを、永末の住民から40数名の希望があって、できないような状況であったのを、6月から早速、休所になっている永末保育所を利用してできるようになったみたいですが、これにしても中途半端なのです。トイレが保育所用の設備になったままであるし、大人の、先生のところを使えるということでありながら、そこにも問題がある。永末小学校の現状をしっかりと捉え、不公平な教育環境というのは是正していくべきだと思います。現状だけはしっかりと見ましょう。私はそれが必要だと思います。
- 五島誠委員長　　ほかの委員の方からありますか。藤木委員。
- 藤木百合子委員　　教育委員会の今後の統廃合の姿勢というか、考えが変わってきているのか、現状のまま行くのか、そのあたりの話を聞いてみたい気もする。だから、今後、永末は児童が減ってくれば、庄原小学校への統合をまた出してくるのか、それが10年以上先のことになるのか。地域の人たちの、先が見えない不安。今後、子供たちがどういう教育環境の中で育っていくのか。計画が立たないというのもどうなのかなという気はするのですが、どうでしょうか。
- 五島誠委員長　　副委員長。
- 前田智永副委員長　　今の藤木委員のお話で言えば、児童クラブは所管が違うので、両課から聞くような形になるかと思います。
- 五島誠委員長　　赤木委員。
- 赤木忠徳委員　　教育委員会の発言が正確に皆さんに伝わっていないのです。実は、皆さんの会議の中

では、令和7年がピークで、その後下がるという言い方をしていますが、地元の人に聞きますと、ピークかもしれないけれども、この10年間ずっと100名以上を維持できる状況であると。我々から言えば、ピークで、それからどんどん下がるのだというイメージだったのですが、地元の人に正確に教えてほしいと聞いたら、そういう状況ではないということです。10年以上も100名を超える小学校ということは、逆に言えば、西城小学校より多いのです。そういう状況で、今の体制でいいかどうかというのは、教育委員会の考え方をただしてみたいです。

○五島誠委員長 整理しますと、まず手始めに、永末小学校区の小学校のこと、あるいは児童クラブのことも含めて、一度、教育委員会に加えて、児童福祉課と、子育て支援のことも入りますので、両方の面で調査をしていくという流れ。もう1つ、先ほど藤木委員からありましたけれども、この計画の今後の行く末についても、一般質問等でもそれぞれ議員の方々が聞いておりますが、不透明な部分も多いのかなと思っておりますので、まず、そこをスタートに議論をしていく流れにしたいと思います。なので、1回の委員会で大体、1つないし2つずつくらいしか進めていけないと思っております。こちら、調整をさせていただいて、次回ないし次々回のうちには、担当課から聞き取りをさせていただきたいと思っております。まず、そこから始めて、永末小学校の件については、一度現地を見させていただくということも考えていいのではないかと思います。そのように進めたいと思っております。横路委員。

○横路政之委員 今、2つの論点があると思っております。施設面をどうするのか。もう1つは、統廃合をどうするのか。統廃合に関しては、方向性をきちんと決めて取りかからないと。もう1回、委員会で統廃合に関しての方向性を決めていくのか。それとも、私の認識では、地元の方、PTA等の意見を最大限尊重して統廃合を進めていくと。要するに地元からそういった意見が出ないと前には進みませんよと。中学校はなくなりましたが、そういった流れで、要するに、中学校統廃合は当分しないという、学校の中で地元の意見を最大限尊重するという考えだったのかなと、私はそうに思っているのです。そこら辺を、委員会が論点を突き詰めて、もう1回原点に戻って、統廃合はどうかというところを、ぶり返すというか、そういう方向性に持っていくのか、ただただ、教育委員会の今後の考え方を聞いて終わりにするのか、そこだと思います。

○五島誠委員長 副委員長。

○前田智永副委員長 統廃合の計画に関しては、中学校はなくなったわけではなく、とりあえず今のところは進めない、という形にはなっているのですが、今、教育委員会の中では、それぞれの学校区のPTAと地域の方にお話を伺って歩いていると、前回の教育民生の中でお話を伺っています。それからどのようになっているのかという、現状把握にとどまるのかなと思っております。こちらでぶり返して進めるという形にはならないと思うので、今、どういうふうに進められていて、どのように考えているのかという調査にとどまるのではないかなと思っております。

○五島誠委員長 横路委員。

○横路政之委員 それが現実的な進め方だと思います。あれ以降、説明を受けていない。ところどころ、説明会に行っているということは聞いているのですが。

○五島誠委員長 赤木委員。

○赤木忠徳委員 数字の問題をはっきりとつかんでおかないといけないと思っております。ですから、今、永末小学校区の中に何歳の子が幾らいて、その子供たちはどこの保育所に通っているのか、何名がどこに行くと言っているのか。3施設くらいにわかれているみたいなのです。そこも含めて、明確な数字だけ

は押さえてほしいと思います。

- 五島誠委員長 横路委員。
- 横路政之委員 目に見えるような資料。できれば2年前の数字とかではなく最新版の、出生数が今後こうなりますよというような数字があれば、ここでの議論も具体的なものになっていくのではないかと思います。資料要求をしてください。
- 五島誠委員長 そういったところも含めて、担当課と調整して、まずは、現状をつかむというところからスタートさせてください。他にはいいですか。この件についてはよろしいですか。続いて、不登校の件ですが、こちらについては、横路委員、お願いします。
- 横路政之委員 一般質問をさせていただいたのですけれども、学校名が思い出せないが、広島県にあります。それか、県外でもいい。そういったところに、実際にどういう雰囲気の中でされているのかというのも具体的に視察してみればと思う。
- 五島誠委員長 視察ですね。副委員長。
- 前田智永委員長 議員仲間でも頻繁に話に上がっているのが、府中と東広島のあたりに、先進の、不登校児童を寄せるといいますか、行く場所があると伺っているので、そのあたりに視察に行ってみないと私も思っております。
- 五島誠委員長 今、2人の委員から、具体的な視察の内容を考えたらどうかという意見をもらいました。横路委員。
- 横路政之委員 不登校特例校という名称になっています。広島県にはないですね。一番近くなら、香川と京都に2校。広島県にあるのは、民間、NPOみたいなところがしているのかなと思います。
- 五島誠委員長 わかりました。時期的にはどうでしょうか。全てのことを同時進行は難しいかと。具体には、9月議会が終わって、秋の時に視察に行かせてもらうのがいいのかなと。それまでに、さまざまな資料をそれぞれで集めていただいて、どこに行くのがいいかとか、まずは、そういった情報をつかんでいくというところで、この件についてはとどめていきたいなど。具体的には、10月、11月あたりの視察ということで検討します。赤木委員。
- 赤木忠徳委員 三重県伊賀市の桜丘中学校・高等学校が有名です。視察に行くのなら、そこも対応ができるかどうかも含めて検討してみてください。
- 五島誠委員長 わかりました。横路委員。
- 横路政之委員 奈良県にも1校、特例校があります。事務局に資料を出しておきます。
- 五島誠委員長 お願いします。あわせて、本市の状況がどうなっているのかをつかんでいかないとけないと思うので、教育条件整備のところで、いろいろな数字を求めると、不登校関係の資料等についても何かないか、私どもで担当課と調整します。そういう流れにしましょう。宇江田委員。
- 宇江田豊彦委員 状況は把握しないといけないのですが、状況は数的なものだけでなく、取り組みについても、どのような取り組みが進められているのか、本市の特筆すべき課題は何なのかということをして一定の整理をしてから先進地視察を考えていかないと、それができていないのに行っても、なかなか課題の整理ができないと思います。
- 五島誠委員長 横路委員。
- 横路政之委員 あおぞらとかありますよね。庄原市内にも2、3あると思います。松本議員も何か立ち上げられるとお聞きした。宇江田委員が言われるように、うちはどうなのかということを中心に

と押さえていくべきだと思います。

○五島誠委員長　　ですので、9月定例会までにそうしたものをつかむ時間を少しとって、それに合わせて視察を検討しないといけないと思います。スケジュール的には、そうした流れでいきたいと思いますので、よろしくお願いします。最後に、生活交通の件ですが、こちらについては、このたび、地域別実施計画というものもできました。その現状を踏まえて、どこかのタイミングで、その取り組みの状況であるとか、検討の状況について、少し状況を見ながら、担当課にヒアリングをしたいと思います。私のほうで担当課長と少し意見交換をさせてもらう中で、ヒアリングをするタイミング等について、皆さんにお示しをしたいと思います。この件について。皆さんから何かありましたら。あらかじめお伺いしておきたいと思います。よろしいですか。横路委員。

○横路政之委員　　Ma a Sはどうなっているのでしょうか。

○五島誠委員長　　Ma a sについても、今までは実証実験という形でしたが、今年度、試行的に取り組みが始まるころなので、そうしたところも含めて、今、どこまで立ち上がっているかということも、私もまだ把握しておりませんので、そうした把握も含めて、皆さんと情報共有をしていきたいと思います。藤木委員。

○藤木百合子委員　　生活交通に関しては、皆さんの関心度が非常に高く、市民と語る会などで、毎年質問が出るというか、取り組みを聞かれることが多いので、市民と語る会までには、こちらも勉強して、何とか答えられるようになっておきたいと思います。

○五島誠委員長　　市民と語る会は、ことしも11月ですね。それまでに、我々もある程度深めておかないといけないと思いますので、少し日程がタイトになるかもしれませんが、9月議会前後に、一度ならず二度になると思いますが、議論したいと思います。赤木委員。

○赤木忠徳委員　　全国的に始まっているのが、スクールバスへの一般混乗制度。一般の方が乗れるような制度を取り入れているところが結構ふえてきた。その制度を、どういう形であれば使えるのか。そのあたりもつかんだ中で総合的に考えないと。庄原市の場合は、今、スクールバスはスクールバス、一般のバスはそのままという形になっています。そこも含めて勉強したいという思いがしています。

○五島誠委員長　　わかりました。以上、5点について。5点ということで、数も多いのですが、どれも今しておかなければいけないことだと思いますので、よろしくお願いします。あわせて、次回の委員会日を、ある程度、候補日を含めて設定をする中で、担当課とも話をしていきたいと思います。本日が7月14日ですので、2週間後ぐらいのところ。27日は議員全員協議会がありましたよね。

○赤木忠徳委員　　議員全員協議会はどれくらいかかるのか。

○五島誠委員長　　事務局長。

○山根啓荘議会事務局長　　市民と語る会の取り組みがありますので、1時間はかかると思います。

○五島誠委員長　　昼からでしたよね。この日は午前中に何かありましたか。

○山根啓荘議会事務局長　　議会運営委員会がありまして、1時から議員全員協議会を予定しています。

○五島誠委員長　　議会運営委員会があるのですね。副委員長。

○前田智永副委員長　　皆さんの御都合がよろしければ、議員全員協議会の後はいかがでしょうか。昼からというか、1時からから始まって2時ごろに終わってから。

○五島誠委員長　　よろしいですか。では、そこをめがけて、担当課と調整したいと思います。次回は、7月27日、議員全員協議会終了後、14時30分ごろを目安に調整させてください。委員の皆さんから

何か継続調査の件について御意見ありましたら、最後にお伺いしたいと思います。宇江田委員。

○宇江田豊彦委員 調査について多岐にわたっているので、集中的に1つずつ課題を解決というか、調査をしていかないと、全部一遍に同時進行という形は非常に難しいと思います。だから、一番最初に取り組むのはどれかということを決めて、少なくとも、2点ぐらいに絞って進めていかないと難しいのではないかなと思います。

○五島誠委員長 私の考えとしては、まず、教育条件整備と子育て支援について取り組ませてもらいたいと思っています。次回の委員会の際に、担当課をお呼びしようかなと考えております。もし皆さんから何かあれば、思いがあれば聞いておきます。副委員長。

○前田智永副委員長 子育て支援のところについては、永末保育所のこととか、永末小学校の放課後児童クラブのこととか、特定のところもちろんですが、本市全体の子育て世代の現場といいますか、子育て支援センターなどもされていますので、そのあたりの、現場の方のお話が聞けたらいいのではないかなと思って。子育て支援に行かれている保健師とか、助産師とか、そういった方のお話が聞けたらどうかなと思います。いかがでしょうか。

○五島誠委員長 検討しましょう。ここですぐ、このタイミングですと言うのはなかなか難しい。先方のこともあつたりしますし、子育て支援施設もかなりたくさんあります。放課後児童クラブもありますし、例えば、長岡のところにあるような施設もあります。そうしたものを含めると、かなり多岐にわたる。保育施設もそうです。そう考えますと、ここで何個というのはなかなか難しい。全部見に行くのは難しいし、そういうことはできないでしょう。一つ一つ段階を踏んで調査をしていかないといけないと思います。視察もありますので、担当課からさまざまな取り組みについて聞いて、ある程度課題をつかんでおきながら、まずは視察に行かせてもらって、その後に、本市のさらなる詳しい現状なども含めて、それぞれの、施設であったり、働いている専門職の方の御意見なども聞かせてもらったりと、一つ一つ丁寧に進めていきたいと思いますので、よろしく願います。宇江田委員。

○宇江田豊彦委員 放課後児童クラブも深刻な課題がもちろんあるのですが、もう1つあわせて言うと、実は、放課後児童教室のほうが、課題が大きいのです。ほとんどボランティアのような形で対応してもらっていますから、非常に大きな課題を抱えています。高齢の方が指導員をされて、かかわっていくのがもう限界だという声も聞こえてきます。その辺もあわせて調査をしていくべきだと思います。

○五島誠委員長 他にありますか。赤木委員。

○赤木忠徳委員 勉強不足なのですが、北自治振興区が、今、新しい学校をつくりかけています。どういう形のものができるのかをつかんでいないのです。聞くところによると、親が必ずこちらに移住してから学校に行かせるということで、既に募集をされている状況です。100名程度の規模になるだろうということですが、どういう形のものかをつかんでいないので、別にどうこうではなく、資料等が入手できれば入手してもらいたい。

○五島誠委員長 現在取り組みが進んでいる民間の教育施設ということで、少し調べてみましょう。他にはいいですか。よろしいですか。本日の委員会については、この程度で閉会したいと思います。

午前10時34分 散 会

庄原市議会委員会条例第30条の規定により、ここに署名する。

教育民生常任委員会

委員長